



令和6年2月29日

国土交通省関東地方整備局

東日本高速道路株式会社関東支社

道の駅「常総」が高速道路の立ち寄り施設に！

～高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験を開始～

高速道路ネットワークを賢く使う取組の一環として、休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現するため、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を、現在全国24箇所の道の駅を対象に実施しております。

この度、新たに道の駅「常総」において、社会実験を開始いたします。

高速道路からの乗り降りを自由とし、道の駅への立ち寄りを可能とした一時退出社会実験については、高速道路利用者が、休憩や買い物、食事、周辺の交通観光情報の入手、「道の駅」が提供する多様なサービスを利用可能となります。

また、「道の駅」においても、広域的な利用者増加による地域活性化が期待できます。

- 1 開始日時：令和6年3月29日（金）0時から
- 2 実施箇所：C4首都圏中央連絡自動車道 常総インターチェンジ（じょうそうIC）
⇔ 道の駅「常総（じょうそう）」（茨城県常総市）
- 3 内容：ETC2.0搭載車に限定し、常総ICから道の駅「常総」に立ち寄り後、2時間以内に同一ICから再流入して順方向にご利用になった場合、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整します。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

○実験に関すること

国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通対策課

電話：048-6600-1346 メールアドレス：ktr-michinoeki@mlit.go.jp

課長 水澤 良幸（みずさわ よしゆき）（内線：4511）

課長補佐 萩野谷 幸男（はぎのや ゆきお）（内線：4512）

○料金に関すること

東日本高速道路株式会社 【お客さま専用】 お客さまセンター（24時間）

電話：0570-024-024 または 03-5308-2424

東日本高速道路株式会社 【報道関係専用】 関東支社広報課

電話：048-631-0222

一時退出実験試行箇所(常総IC～道の駅「常総」)

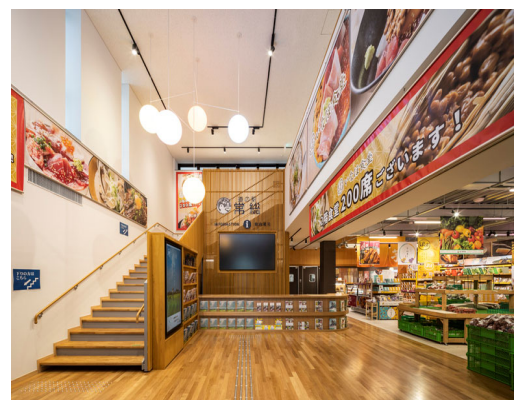
C4首都圏中央連絡自動車道の常総ICに近接する道の駅「常総」は、地域課題解決に向けた「アグリサイエンスバレー事業」における地域農産物の新たな販路の開拓や拡大を目的とした販売拠点を担うとともに、常総IC周辺を玄関口とした新たな交流と産業の拠点としての役割を担っている。



～ 道路利用者向けの提供サービス ～

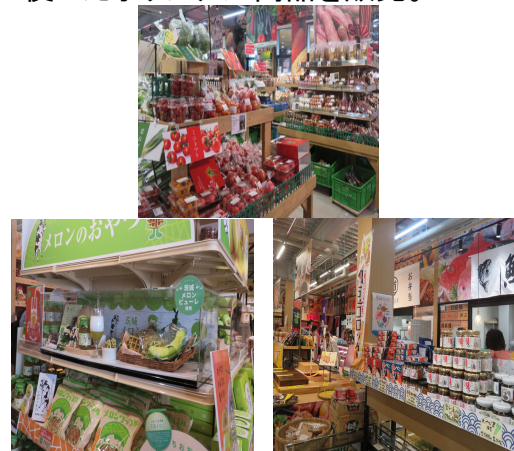
<休憩施設・情報発信・観光案内>

道路利用者に休憩の場や道路情報を提供するとともに、観光や地域情報も提供し、常総市の魅力を発信。



<直売所>

地元野菜をはじめ、茨城県の食材を使ったオリジナル商品を販売。



<レストラン>

常総市産コシヒカリや茨城県の食材を使用したメニュー、道の駅オリジナル卵メニューを提供



<子育て応援施設>

授乳室やおむつ交換台、キッズスペース、キッズトイレなどを整備。

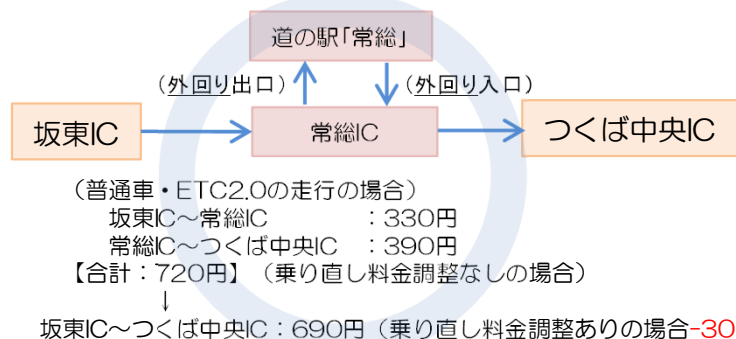


■利用条件

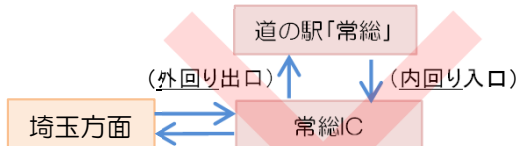
- ① **ETC2.0*搭載車**が対象です。全行程で同一のETCカードをご利用ください
係員のいるレーンでETCカードの手渡しにより料金の精算をされる場合は、ETC2.0対応車載器を搭載している旨お申し出ください。
- ② **常総ICでの乗り直しかつ順方向の利用のみ料金据置**となります。
- ③ **道の駅「常総」に必ず立ち寄る必要があります。** (出入口付近のETC2.0送受信機を通過してください)
- ④ 常総IC退出後、**2時間以内**に**常総ICから再流入**してください。

一時退出した場合でも、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整します。
 【料金表示器では料金調整前の金額が表示されます。後日、カード会社等から請求させていただく際に、料金調整後の金額となります。】
 【利用区間と車種によっては料金調整前後の金額が変わらない場合もあります。】

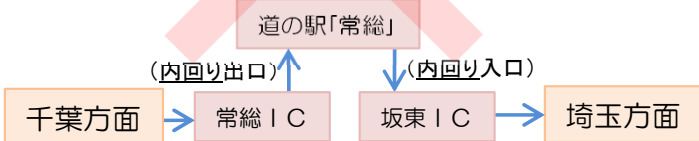
○順方向の例（目的地まで料金据置）



×順方向とならない例（区間毎の料金となります）



×常総IC以外のICで乗り直した場合
 (区間毎の料金となります)



社会実験対象の道の駅

□ : 現在実験中の道の駅(点線: 準備中)

□ : 今回実験を開始する道の駅

